



H18. 3.10 1183
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 「食育を考える」 県協同組合間提携シンポジウム開催される

3月3日に静岡県協同組合間提携推進協議会の活動として、第14回県協同組合間提携シンポジウムが、「食育を考える」をテーマに、静岡市のクーポール会館で開催されました。

従来、日本人の栄養バランスは世界的にみても理想的であると言われてきましたが、近年食生活の変化により脂質が増加傾向にあり、肥満や糖尿病などの生活習慣病が増加しています。少子高齢化の進展や家族人数の減少などで、多様な家族形態が生まれる中、私たちの食生活は大きな曲がり角に差し掛かっているとされています。

このような状況下で、平成17年7月に「食育基本法」が施行されました。「食育」とは、生きることの基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるものと位置付けるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することのできる人間を育てることと定義されています。

今回のシンポジウムでは「食の探偵団」を主宰するサカイ優佳子さんから、「私たちが何を食べるかで世界が変わる」、「私たちは食べるということの意味を考え直す必要があるのではないか」との講演があり、その後、「食育と木の文化」(県森連会長 榛村純一氏)、「子供との魚料理教室をつうじて」(稲取漁協女性部長 津島幸子氏)などの活動報告があり、昼食時には内浦漁協の「あじ葉寿司」の試食も行われ80名余の参加者の好評を得ていました。

2. 県漁協青壮年部連合会がシラス部会を開催 - 県漁青連 -

県漁協青壮年部では、3月3日御前崎漁協において、青壮年部活動を盛り上げる一つの試みとして、本県の中核的漁業であるシラス船曳網漁業に従事する若手漁業者に呼びかけ、第4回シラス部会を開催しました。

部会は、駿河湾・遠州灘沿岸域でシラス漁に従事する各漁協青壮年部員等約20人が参加し、始めに地元御前崎漁協増田組合長の挨拶の後、県水産試験場漁業開発部鈴木副主任より、平成17年の県内シラス漁況について報告があり、また、平成18年の漁況については、現時点では詳細なことはいえないものの、データ的に見て概ね例年並みから好漁となる見通しで、漁獲量が期待される説明がありました。

引き続き、フリートーク形式で当該漁業に関する問題点などについて意見交換を行い、燃油高騰に伴う取り組み、市場統合の検討、水試のHP上での情報発信などの意見や提案等が出され、御前崎漁協増田組合長からは、若手シラス漁業者同士さらに情報交換を深めるとともに、新しい操業技術を見出し前向きな操業を行うことが重要であると、激励がありました。

3. 静岡市民は日本一マグロを食べる

総務省の家計調査によると、都道府県庁所在地の平成16年1世帯当たりのマグロ消費支出額は、静岡市が11,287円で全国1位となり、全国平均の5,852円に比べて、2倍近い金

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

額を静岡市民は支出しています。

市民にマグロを供給する、静岡中央卸売市場のマグロ取扱金額は、平成16年が生と冷凍を含めて57億3,000万円で、7年連続で増加しています。市場全体の取扱高は約293億円で、マグロの構成比は2割に達しています。

マグロだけではなく、干しアジの支出金額が全国2位、また、焼津や御前崎などの有力産地を擁するだけあって、カツオ製品の消費も盛んで、生鮮カツオは同12位、カツオ節・削り節は同3位となっています。

このほか、釜揚げを主体としたシラス干しが全国2位、焼津名産のなるとや黒はんぺんを含む魚肉練り製品は、全国1位の支出金額を誇っています。

4. 海面水温と塩分濃度の実測データ配信

特定非営利活動法人ヴォース・ニッポンは、民間船舶の協力で、遠州灘 - 豪州東岸間の海域と、瀬戸内海 - タイランド湾間の2つの航路で連続的に計測された表面海水温と塩分濃度の精密なデータを、インターネットを通じて無償で提供しています。

航路を定期的に運行している民間船舶に観測機器を取り付け、冷却水としてくみ上げた海水から1分ごとに時間、緯度経度とともに水温、塩分、クロロフィル蛍光度を自動計測、本邦の港に寄港した際に収録データを回収してチェックした上で公開されています。HPアドレス：<http://vos-nippon.jp>

5. 平成18年度沿岸漁業コース研修生募集中 - 県立漁業高等学園 -

県立漁業高等学園(焼津市小川)では、UターンやIターンなどでこれから新たに漁師を志す人を対象に、平成18年度沿岸漁業コース研修生を募集しています。

このコースは、沿岸漁業に従事するために必要な船舶や無線の免許講習や、漁業法規や気象その他水産全般の座学、網の補修・ロープワーク等の実習のほか、漁業現場での実地研修などを通じて、漁師になるための資質の向上とともに、漁業で働くことについての理解を深め、漁師になるためのきっかけづくりをサポートします。

応募定員は、前期(平成18年5月下旬～7月上旬)・後期(平成18年10月上旬～11月下旬)各10人で、研修期間は約3ヶ月です。研修内容は次のとおりです。

研修内容： 学科 = 水産全般、漁業関係法規、漁業組織、海難防止、救命救急など
実習等 = ロープワーク・網実習、漁業現場見学など 実地研修 = 漁業現場での体験研修(約2週間) 免許講習 = 1級小型船舶操縦士、2級海上特殊無線士

応募資格：静岡県内の漁業への就業を希望するもの(年齢・性別不問)

申込期間：平成18年4月3日～14日(前期・後期生一括募集)

選考日：平成18年4月24日(月) *面接及び作文により選考

問合せ先：静岡県立漁業高等学園 〒425-0033焼津市小川3747-2 TEL:054-627-0219

HPアドレス：<http://www.pref.shizuoka.jp/nousei/ns-36>

6. 諸会議・日程(3月14日(火)～3月27日(月)) - 既報分省略 -

3月14日(火) 県漁港漁場協会 = 漁港漁場関係担当者実務研修会 (ブケ東海)

3月17日(金) 県養鰻協会 = 養鰻業今後のあり方検討会 (県水産会館)

3月22日(水) 県漁連 = 県トラフグ資源管理型漁業実践推進漁業者協議会 (")

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう